

小中一貫教育推進協議会での主な意見（社地域）

視 察 前	視 察 後
<p>①加東市の小中一貫教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・失敗した学校から学んで、いい方向に進んでいけばいいと思う。 ・小中一貫校の取組成果の評価と検証を十分にする必要があると思う。 ・校区の再編もできるのではないかな。 <p>②今後の活動内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社地域と同じようなところの学校を視察したい。 <p>③その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鴨川地区の保護者が不安感を持っているということをしっかりわかっていただきたい。 ・現状で満足しているので、一貫校になることのメリットが感じられない。 ・9年間を見ずに5つの課題を解決すればうまくいくと言われても納得できない。 ・小中一貫校が始まって4・5年は子ども達に負担がかかるのではないかな。 	<p>①先進校視察結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工夫もされており、施設が素晴らしかった。 ・小中一貫教育をするために建てたので使い勝手がよく、子どもにとってよいと感じた。 ・併設型と比べると、やはり校舎一体型がよい。 ・ハードは建てたら変えられないので重要。 ・子ども達が、いきいきしていた。 ・小学生と中学生がうまく学習しあって、縦のつながりができていた。 ・9年間を見据えて教育しており、一貫したポリシーを感じた。 ・本市は通学の問題があるので、今後、取り組んでいく必要がある。 ・地域の規模が大きい、小さいというのは関係なく、その学校をどうしていきたいのかというところを考えていけば問題ないと感じた。 ・校長のリーダーシップと地域との深いつながりがあった。 ・子どもにとって環境は大事で、よい環境を整えてやりたいと思った。 ・教育目標をたて、H33に開校できる体制をつくる必要がある。 ・小中一貫教育は、やったほうがよいと確認できた。 <p>②課題の整理と対応方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会の構成員に若い人を入れてほしい。 ・情報を提供し、共通理解を進めていくことが大事である。 <p>③今後の協議の予定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育が子どもにとって良いのであれば、開校は早い方がよい。3地域同時に開校できなくても、できるだけ地域の差異はないようにしたほうがよい。